

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(R1年度:計画作成主体:白鷹町農業再生協議会)(山形県)

取組の概要

対象品目 : 地域特産物 (ホップ)
 (産地面積4.77ha)
 主な取組主体 : 白鷹町ホップ堆肥散布機械利用組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準 (H30年度) 400千円/10a
 目標 (R3年度) 454千円/10a
 導入施設等 : 生産支援事業 (機械リース: マニアスプレッダ)



山形県
 白鷹町
 鮎貝、東根、鷹山地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

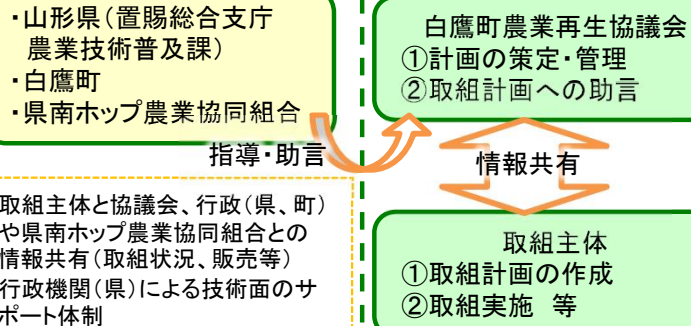
ホップの生産量は気象要因 (特に降水量) に大きな影響を受ける。近年、夏季に高温干ばつとなる年が多いが、現状では、かん水が十分実施できないほ場が多く、気象変動の影響を受けやすい状況にある。
 堆肥散布により土壌改良を促進することで、高温干ばつ時にも安定した収量を確保し、生産量の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ①土壌改良のための堆肥散布
- ②機械導入による堆肥散布作業の効率化・省力化
- ③キリン(株)との契約栽培
- ④高品質安定生産に向けた栽培管理の徹底

産地体制



取組成果

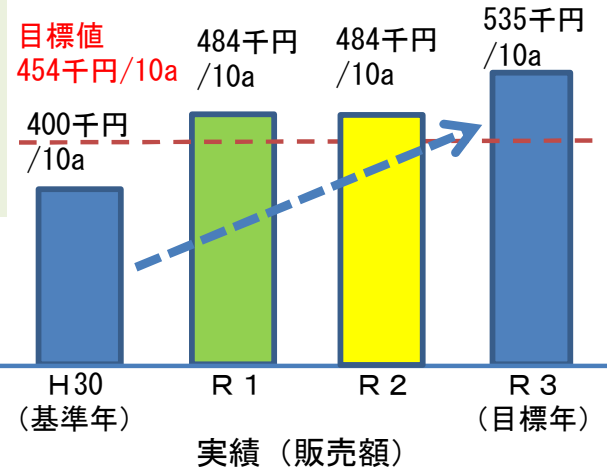
【事業実施による直接効果】

・堆肥散布機の導入により、土壌改良が進み、近年頻度の高い高温干ばつ時にも安定した収量を確保

【事業実施による間接効果】

・キリン(株)との契約栽培により、販売価格の安定化が実現
 ・高品質安定生産に向けた栽培管理を行い、販売額が増加

**販売額が
 33.8%増加
 (達成率250.0%)**



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・キリン(株)との契約栽培
- ・高品質安定生産に向けた栽培管理の徹底